

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
あしたも笑顔谷中公園		令和7年3月				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	テーブルや玩具箱を壁際に寄せスペースを保っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2	支援に支障がないよう、職員の配置には十分注意している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		室内はバリアフリーになっており玄関はスロープになっている為、歩行に不安がある児童でも無理なく入室ができる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		日々の清掃と合わせ、週1～2回はエアコン清掃など室内全体を重点的に除菌清掃を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	必要があれば半個室の場所や児童の要望があればテントを使用することができる。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	2	基本的には常勤職員が参画しているが、どの職員でも意見を言う機会がある。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		保護者から改善してほしい点が意見として記載があった場合には、職員間で話し合いを行い可能な限り対応する。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		職員から意見があった場合には、即時検討し改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8		現在は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		年3回の4事業所合同研修会や事業所内での研修を行っている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		ホームページに公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		保護者との面談や日々の児童の様子を踏まえ職員間で検討し作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		計画作成前には関わる職員が必ずカンファレンスを行い検討を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		職員全員が計画書に目を通している。計画書に沿った内容の表を作成し、表を基に支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		支援内容に基づいた記録に記載し、児童の行動観察を確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		行っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		職員間で相談し意見を取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		日々打ち合わせを行っており、打ち合わせ後は必ず情報共有ツールで内容を共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	4	急を要する事案に関しては業務終了後に話し合いを行っているが、その他の事案に関しては必ず翌日の業務前に打ち合わせを行っている。また、情報共有ツールにて全体に周知している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		記録の記載を徹底し、検討及び必要があれば改善を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		最低でも半年に一度は必ず行い、必要があればその都度見直しをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		昼食時やおやつ時にも児童が座る場所を自身で決めてもらう等、日々の活動の中で自己決定を促している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	基本的に児童発達支援管理責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	必要に応じて行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		適切に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		児童発達支援事業所と情報共有する場合がある。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		希望があれば提供している。 また、随時相談を受け付けている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3	研修を受ける機会を設けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	7		地域の子どもと活動する機会を設けたいが、検討が必要。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	7		参加したいが機会がない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		引継ぎ時や必要があれば個別に対応し、共通理解を得ている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	保護者から相談があった場合には、保護者の対応力向上に向け適宜支援を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に必ず説明を行い、その他でも随時保護者からの質問を受け付けている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		面談やフェイスシート、または口頭で確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		必ず得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		要望があれば適宜行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		8	現状では保護者同士の交流に関して要望がないが、要望があれば検討し必要に応じて支援を行う。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1	迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	1	毎月1回事業所通信を配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		都度配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8		検討は行っているものの防犯上の不安があり、開催に至っていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		訓練を実施し月一回の事業所通信に掲載し周知を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		BCPを策定し、避難訓練を行っているとともに、安否確認の訓練も行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		フェイスシートに記載してもらい確認をしている。また、発作について保護者と相談し対応方法を決めている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		食べ物アレルギーがある場合にはおやつを持参してもらったり、対象となる食べ物の提供はしていない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画に沿って訓練等を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		都度周知を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		必ず全職員が共有し検討を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		法人内合同研修や事業所内において研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		現状ではやむを得ず身体拘束を行わなければならない児童の利用はないが、必要に応じて必ず保護者への説明・了解を得て記載する。	